



東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告⑩ 『きょういく東村山』より

学校への「特別貸出」サービス



授業で使う本の貸出

市立図書館には、子どもたちの読書環境を充実させるために、個人貸出以外にも団体向けの特別貸出の制度があります。

小・中学校に対しては、先生からの依頼に合わせて本を集め、学年やクラス単位で貸し出します。教科書の単元に本を使って調べる場面も出てくるので、学年ごとに様々なテーマの本が求められます。

昨年度は、小学校1年生の「どうぶつの赤ちゃん」調べ、3年生の「食べ物」調べなどの際に、多くの学校で特別貸出の本が利用されました。また、高学年のクラスには環境問題や人間関係の本などを、中学校へは委員会活動で使う本などを貸し出しました。

いろいろな本を比べて必要な情報を読み解き、まとめる力を、調べ学習の基礎としてぜひ子どもたちに身に付けてほしいと願い、このような授業で使う本の貸出・配送サービスを行っています。

読み聞かせ用図書と学級文庫用図書

ほかには、小学生用に市立図書館であらかじめセットした「1年生読み聞かせ用図書」や「学級文庫用図書」を希望するクラスに貸し出しています。

1年生は字を習い始めても、まだまだ読んでもらうことが大切な時期です。耳で聞いた言葉をもとにイメージを思い描く経験を重ねていくことが、その後の読書力につながっていきます。「1年生読み聞かせ用図書」セットには、長く読み継がれた定評のある絵本がたくさん入っていますので、ぜひ先生の声を通して伝えてほしいと思っています。

また、朝の読書の時間や雨の日の休み時間などに、身近な場所で本を手にとってほしいと考え、「学級文庫用図書」の貸し出しをしています。男の子、女の子、本好きな子、苦手な子…教室にいるいろいろな子どもたちを思い浮かべながら、1クラス40冊のセットを作ります。1年間利用してもらい、3月に返却されますが、気に入った本の感想や、「去年より更におもしろい本が入っていた」という手紙が添えられることもあり、うれしく感じます。

高学年になると、市立図書館に足を運ぶ時間が取れなくなることが多いようですが、教室で少しの時間でも本に触れることができるのが学級文庫の良さではないでしょうか。

継続した支援を

市立図書館では、子どもたちが主体的に読む本、保護者や先生が読み聞かせる本など、様々な用途に応えられるような本を選んでいきます。

各図書館の書庫や萩山図書館の共同閉架書庫の本も活用しながら、今後も学校への支援を続けていきたいと思っています。

『きょういく東村山』第56号より転載

平成20年6月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会